

## 大学不合格体験記

3.8点足りずに僕は去年、大学に落ちました。

そして今年、一年の猛勉強を経てリベンジを果たしました。浪人を経て僕が感じたことはたくさんありますが、普通の合格体験記では語られないような大学に落ちたからこそ感じた事を話したいと思います。

今振り返ってみると高校3年生の頃までの僕は、人生をなめていました。

小・中・高とお世話になった学志舎では、定期テストごとに「どれだけテスト勉強に対して努力できたか」を%で表すという取り組みがあったのですが、100%と書いたことがありませんでした。

しかしそれなりに結果が出ていたことで慢心していました。

何かあると部活動や環境のせいにしてなんとなくやり過ごしていました。

そして気づけば高3の夏。そこからは将来やりたいことを明確にし、100%に近い努力を続けました。

しかし結果は不合格。この結果でようやく自分は考えが甘かったんだと気づかされました。

また大学受験に限らず、何か成果を出すということはとても難しいことだと知りました。

だんだんと大学入試が推薦の割合が増えていく中でもやはり、

一般入試の勉強を経験して得られるものはとても大切だと思います。

受験を通して思ったこと。まずは自分のやりたいことができる環境へ感謝をすること。

次にSNSとの付き合い方。計画性を持って主体的にすることです。

塾長が常に言っていた「今の自分の100%を出し切れ」という言葉がこの時身にしみてわかりました。

この1年、本当にきつかったです。しかしこの経験で今後どんなことでも乗り切っていける自信ができました。

受験勉強で得た財産を基にこれからの人生、全力で楽しみたいです。



入塾したばかりの頃

## 力を何%出せたのか？ 自分で採点する。

点数よりも、大切なものと教えています。

学志舎では教師のことを「先生」ではなく「コーチ」と呼びます。

「コーチ (coach)」とは「馬車」の意。

ひいては「大切な人を、その目的地まで送り届ける」という意となります。

「卒塾生 学志舎で語る」 vol.15



「卒塾生 学志舎で語る」  
バックナンバーはこちら

星谷 惺

北海道大学 歯学部 合格

以下、星谷さんと塾長の入試発表後のやりとりです 【LINE】2024年3月7日(木) 21:50

約7年間本当にありがとうございました。先程は言いたいことがいっぱいあったけど、想いがこみ上げてきそうだったので文書で書きたいと思います。

まず、学志舎に入るまでの僕は自分の頭で考えるということをしない人間でした。しかし、自律ということがどのようなもので、人生においてどのように重要なかを学志舎にいた7年間で自分なりに解釈し、身につけることができたと思います。中学時代の僕は、勉強の目的というのにこだわり、岐阜高校に進学することができました。さらに高校生時代には、塾長が時折話してくれた政治や経済の話、歴史の話や物事を多方面から見たうえで、今世の中にある情報を自分の頭でフィルターにかけてから受け入れることの重要性を教えてもらいました。世の中の問題や高校での勉強の意義について自分なりに調べたり考える中で物事を多方面から見る力は本当についたと思います。勉強や野球のこととかでたくさん相談に乗って頂いたし、他の塾では絶対学べない人として重要な力をこの7年間でたくさんつけることが出来たと思います。ありがとうございました。良い報告ができると良かったのですが、期待に沿うような結果でなくて本当に申し訳ないです。でも、小学校から高校の7年間学志舎で学ばせていただいたことに本当に感謝しています。これからの一年はもっと人として成長できるチャンスがあるいい機会だと思います。この一年を無駄にせず、感謝を忘れずに前向きに頑張ります。来年こそは良い報告をするので待っていてください。本当にありがとうございました。

意味のない事象はない。今回の結果を人生においてどう活かすか、それが大事だと思う。何かが終わった瞬間、次の何かが始まっている。未来に向かって走れ！これまでありがとうな。

2025年3月6日(木) 9:15

お久しぶりです。星谷です。北大歯学部合格しました！

一年遅れての合格報告になり申し訳ありません

学志舎での経験がなかったらこの一年も頑張れなかっただろうし、本当に今の自分があるのは塾長のおかげです。ありがとうございます。

おめでとう！

惺なら必ずリベンジするやろうとは思っていた。本当に良かった。

一度挫折をし、それを乗り越えた者ほど強くなれるし、人に優しくなれると思う。最高の知らせをありがとう。

私が彼の担当になったのは高校2年生の秋でした。

軟式野球部で部活に打ち込み、へとへとに疲れた状態で塾に来ていた星谷くん。

2年生までは高校で出される宿題も提出が遅れ授業の復習も追いついていなかったため、大学受験を乗り切れるのだろうかかと正直少し不安でした。

しかし3年生になり志望校が明確になってから星谷くんの目つきが変わったのを

鮮明に覚えています。どんなに疲れていても毎日やるべき勉強をこなせるようになり、分からない問題も放置せず理解できるまで質問し演習することができるようになりました。マンツーマンのときには「教えてもらうことを吸収して自分のものにするんだ」という真剣な表情をしていて、指導にも熱が入りました。

長期休暇の講習中には早朝から夜遅くまで塾に籠って勉強し、問題を解くのに使った紙が机の脇に大量に積み上がっていましたね。学習内容がびっしり書き込まれた計画表を毎日こなしていく姿に志望校への熱い思いがひしひしと伝わってきました。

受験前最後の授業。「これだけ努力したから悔いはないです、全力で頑張ってください」と受験に向かう背中には力強く頼もしかったです。希望する進路への進学、本当におめでとう。素敵な笑顔の星谷くんが笑顔の春を迎えられてとても嬉しいです。

大学生活も楽しんでね！

担当コーチ 岩田千紗子 岐阜大学 医学部



# 学志舎

智をつけよ そして人の為に活かせ



築100年の古民家



1F 小中学生教室



2F 高校教室

〒500-8085 岐阜市白木町92番地

【お問い合わせ】平日10:00~21:00

☎ 058-265-4562



<https://gakushisha.com/>

学志舎

検索

# 学志舎

岐阜市で27年の塾運営経験を活かし、  
お子さまのレベルに合わせたカリキュラムを組み立て、  
徹底した自律学習指導を行っています。

## ～与えられた時間を大切に～

もしこんな銀行があったらあなたはどう利用しますか？

それは奇妙な銀行です。この銀行にお金を預けても利子は付きませんし、お金を借りることもできません。

しかし、その銀行は、毎朝あなたの口座へ86,400円振り込むと同時に、あなたの財布にすべて引き出され、それをあなたは自由に使うことができます。しかし、このお金は「魔法のお金」、あなたが使い切っても、使い切らなくても24時間で消えてしまいます。これが毎日続きます。

あなたならどうしますか。もちろん毎日86,400円全額を引き出しますよね。

この奇妙な銀行を、実は私たち一人一人が持っているのです。それは「時間」という銀行です。

毎朝あなたに86,400秒が与えられます。毎晩あなたがうまく使い切らなかった時間は消費されてしまいます。それは翌日には繰り越されません。それは貸し越してできません。毎日あなたのために新しい口座が開かれます。そして毎晩、残りは燃やされてしまいます。もしあなたがその日の預金をすべて使い切らなければ、あなたはそれを失ったこととなります。過去にさかのぼることはできません。あなたは今日与えられた預金の中から今を生きないとけません。だから、与えられた時間に最大限の投資をしましょう。そして、そこから健康や幸せ、成功のために最大のものを引き出しましょう。時計の針は走り続けています。今日という日に最大限のものを作り出しましょう。

一年の価値を理解するには、落第した学生に聞いてみるといいでしょう。

一か月の価値を理解するには、赤ちゃんを産んだ母親に聞いてみるといいでしょう。

一週間の価値を理解するには、週刊新聞の編集者に聞いてみるといいでしょう。

一時間の価値を理解するには、待ち合わせをしている恋人たちに聞いてみるといいでしょう。

一分の価値を理解するには、電車にちょうど乗り過ごした人に聞いてみるといいでしょう。

一秒の価値を理解するには、たった今、事故を避けることができた人に聞いてみるといいでしょう。

十分の一秒の価値を理解するには、オリンピックで銀メダルに終わった人に聞いてみるといいでしょう。

だからあなたの持っている一瞬一瞬を大切にしましょう。

そしてあなたはその時をだれか特別な人と過ごしているのだから、十分に大切にしましょう。その人はあなたの時間を使うには十分ふさわしい人でしょうから。そして時は誰も待ってくれないことを覚えましょう。昨日はもう過ぎてしまいました。明日はまだわからないのです。今日は与えられるものです。

だから英語で「今」をプレゼント(present)と言います。

これは有名なチェーンメールの「時間銀行」です。見たことがあるぞ、と思った人もいるかもしれません。原文では「円」ではなく「ドル」になっていますが、わかりやすいように「円」にしました。人生とは生まれた瞬間に大きな砂時計をひっくり返したようなものです。

砂の量は誰もが有限です。この限られた時間をどう使うかは、すべて「あなた」に委ねられます。

落ちていく小さな砂の一粒一粒に、あなたの人生そのものが刻まれていきます。

誰もが平等に、毎日「86,400秒」という時間が与えられています。それを無駄に捨てることなく有効に使いきっていますか？眠りにつくとき悔いのない一日だったと自分をほめてやれますか？その使い方を、しっかり考えてほしいのです。

オリンピックの銀メダリストが知っているのは、本当は10分の1秒の価値ではありませんね。金メダリストの名前は世界中に知れ渡りますが、銀メダリストの名前は残念ながら記憶されないのです。

その差はたった100分の1秒でも…。

さあそれを踏まえてこの春、自分の足で一步を踏みだしましょう！新たな一步を踏み出す皆さんに、次の言葉を贈ります。

世の中の人は何とも言わば言え  
わが成すことは我のみぞ知る

坂本龍馬



司馬遼太郎「龍馬が行く」中の言葉です。

自分の信念に基づいて行動しましょう。周りの声を気にして尻込みしてはいけません。あなたの人生です。決して他人から与えられるものではありません。

楽な道を歩もうとする人は多い  
楽しく儲けようとする人も多い  
需要と供給の関係が明らかのように  
その人には平凡な結果しか待っていない  
トーマス エジソン



水戸黄門ではありませんが「人生楽ありや苦もあるさ」ですよ。山あり谷ありだからこそ、振り返って見た時に懐かしく思い出されるのです。神様はその人が谷に落ちることがあっても、這い上げられるからこそ、試練を与えてくれるのです。谷が深ければ深いほど、その人にそれだけの力があるのだと思ってください。我々の行く道は決して楽な道ではありません。だからこそ非凡な結果が待っている！

振り向くな、振り向くな、  
後ろには夢がない

寺山修司



魯迅は「君の前に道はない。君の後ろに道はできる」と小説「故郷」で書いています。既に完成され、整備された道に「夢」など存在しません。自らが切り開いて行くからこそ「夢」があるのです。人が敷いたレールの上を歩くのではなく、あなたは未来をしっかりと見据えて、自分だけの途を作ってください。そのために最後にとっておきの言葉を贈ります。

目が前向きについているのは なぜだと思おう？  
前へ前へ進むためだ！

ドラえもん

## 自律学習の徹底

「言われたことはきちんとこなすが、自分で考えて行動を起こすことが出来ない子が多い」と言われる昨今、学志舎は「学力」＝「学ぶ力」すなわち「自分で考えて、学習できる力」と位置づけ、徹底した自律学習指導を行うことにより、自分で考えて行動できる子どもを数多く育てています。

## 国語力最優先指導

23年前、学志舎は岐阜市で初めて小学生「読書コース」を創設し、国語力の強化に力を入れてきました。なぜなら、すべての教科の基本は「国語」だと考えているからです。そして、学志舎は、国語力が受験においても大きな武器となることを、その結果で証明してきたのです。

## 褒める教育の徹底

褒め上手な親の子は伸びる子が多い、もしくは学力が高い生徒が多いというのは、27年の経験の中で間違いありません。学志舎は21年前に岐阜県では初めてコーチングを導入し、お子さまの存在を認め、良いところを褒めることを徹底して行うことで、お子さまを大きく伸ばしています。



勉強の習慣付けを徹底

### 小学部

中学・高校の6年間で花開く「基礎学力」を徹底して作るコース



朝6時オールナイト学習会終了

### 中学部

高校受験のための教科力と自律の養成を徹底して行うコース



合格おめでとう！

### 高校部

本格的な大学受験のための学力形成を徹底して行うコース

〒500-8085 岐阜市白木町92番地

【お問い合わせ】平日10:00～21:00

☎ 058-265-4562

【感染症対策実施中】

詳細はHPを御覧ください



<https://gakushisha.com/>

学志舎

検索